



一年生が育てているアサガオ

# 麻里布小だより 夏休み号

<http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/marifu-e/>

## 一学期の終業式を迎えるにあたって

早いもので、一学期も残すところ数日となりました。

さて、一学期の始業式では、「友達や先生としっかり関わりながら、自分や友達のよさをたくさん見つけよう」「当たり前前のことがきちんとできる麻里布小学校の子どもになる」ということを子どもたちに伝えました。振り返ってみると、この一学期、学校として落ち着いた状況の中、様々な行事や教育活動、チャレンジ目標の達成に向けた取組の中で、麻里布小学校のよさ、そして、一人ひとりのよさが発揮された一学期であったと思います。保護者や地域の皆様には、御支援・御協力をいただき、ありがとうございました。



読書週間の図書室の様子

次に紹介する「子ども」という詩は、アメリカ合衆国の教育学者であるドロシー・ロー・ノルト博士によるものです。どこかで見たり聞いたりしたことがある方も多いのではないのでしょうか。

子どもたちと過ごす時間が長くなる夏休みに、心に留めておきたいものです。

### 子ども

### ドロシー・ロー・ノルト作

批判ばかりされた子どもは、非難することを覚える。  
殴られて大きくなった子どもは、力に頼ることを覚える。  
笑いものにされた子どもは、  
ものを言わずにいることを覚える。  
皮肉にさらされた子どもは、鈍い良心の持ち主となる。  
しかし、激励を受けた子どもは、自信を覚える。  
寛容に出合った子どもは、忍耐を覚える。  
賞賛を受けた子どもは、評価することを覚える。  
フェアプレーを経験した子どもは、公正を覚える。  
友情を知る子どもは、親切を覚える。  
安心を経験した子どもは、信頼を覚える。  
可愛がられ抱きしめられた子どもは、  
世界中の愛情を感じ取ることを覚える。

### 「通知表」を成長につなげて

学期末ごとに、「通知表」をお渡しします。これは、担任がその学期のお子様の頑張りや成長の様子を保護者にお伝えし、次の学期に向けて、ステップアップするための資料です。

よさを認め、反省すべき点は、どうすればよいかを一緒に話し合ってみてください。そして、夏休みの過ごし方に生かし、2学期への更なる成長につなげましょう。

## 岩国市教育委員会から学校閉庁のお知らせ

岩国市では、夏季休業中に市立小・中学校の閉庁日を設け、省エネルギー対策上の効果を上げるとともに、教職員の夏季における健康増進と休暇取得促進を通して、学校運営の改善を図ることとしており、今年度は、8月14日（月）・15日（火）・16日（水）を学校閉庁日とします。

学校閉庁日における緊急時には、岩国市教育委員会を通して各学校長に連絡するようにしていますので、緊急の際は、岩国市教育委員会学校教育課に御連絡ください。

<緊急時連絡先> 岩国市教育委員会学校教育課 TEL 0827-29-5203

マリニックが終わった6月上旬、校内放送を使い、全校児童に次のような話をしました。「元気な学校・地域をめざして」と題して話した内容を紹介します。

### 元気な学校・地域をめざして

麻里布小学校の先生方は、皆さんに、よく考える子になってほしい、やさしく親切な子になってほしい、元気な強い子になってほしいという願いをもっています。この願いは、保護者の皆さんはもちろんですが、この麻里布地域に住むたくさんの皆さんの願いでもあります。

まとめていうと、「麻里布小学校や麻里布地域のことが好きになってほしい、しっかり学ぶ、たくましい子になってほしい」とみんなが願っているということです。

このように、みんなが同じ願いや思いをもち、「みんなで元気な学校・地域をめざす」学校のことを、コミュニティ・スクールといいます。コミュニティ・スクールである麻里布小学校は、これまでも、たくさんの地域の方々にお世話になりながら、学習を行ってきました。

それでは、どんなの方々にお世話になってきたか、思い出してみましょ。

入学したばかりの一年生が安全に下校できるように、安全ボランティアの方々が一緒に下校してくださいました。また、本の読み聞かせをしてくださったり、お手玉やコマ回しなどの昔の遊びを教えてくださいました。かけ算九九を覚えたかどうか聞いてもらったり、花生けに参加したりした人もいます。また、高学年は、ミシンの使い方を丁寧に教えていただきました。

このように、地域の方々は、皆さんに「学校や麻里布地域のことが好きになってほしい、しっかり学ぶ、たくましい子になってほしい」という思いで、お手伝いをしてくださっているのです。

次に、麻里布小学校は地域のためにどんなことをしてきたのでしょうか。

麻里布地域のことをよく知るために、町探検などを行ってきました。また、軽トラ市や岩国祭りに参加し、地域の行事を盛り上げてきました。

では、元気な学校、地域にするために、他に自分たちにできることはないでしょうか。

地域の代表の方に聞いてみました。

まず、チャレンジ目標を達成できるようにみんなが頑張り、素敵な学校にしてくださいと言われました。そして、麻里布地域のことをしっかり学び、自分たちに何ができるかを考えてみるのが大切だと言われました。

ここで、チャレンジ目標を思い出してみましょ。「だまってそうじをしよう」「自分からあいさつをしよう」「はきものをそろえよう」です。

先生が、毎朝、西門のところに立っていると、自分から進んで頭を下げながら、「おはようございます」という挨拶ができる人がたくさんいて、とてもすがすがしい気持ちになります。挨拶は、自分だけでなく、言われた人をすがすがしい気持ちにさせる魔法の言葉です。登校の見守りをされている地域の人やおまわりさんに出会うことがあると思いますが、皆さんが元気な挨拶をすると、きっと地域の人元気になるはずですよ。

また、皆さんは、会釈というのを知っていますか。軽く頭を下げて礼をすることです。学校で先生やお客さんに出会ったとき、会釈ができるとすてきですね。

皆さんが、元気な学校・地域をめざしてすぐにできることは、チャレンジ目標が達成できるように、一人ひとりが気を付けることです。まずは、自分から進んで挨拶し、学校と地域を元気にしていきましょう。

そして、他に何ができるか、委員会や学級でも考えてみてください。



代表委員会での話合いの様子